



オンライン講座を受講する福島の高校生たち。「多忙な日々を送る高校生にとって休校はチャンスでもある。学校では聞けない話、普段はなかなか会えない大人とつながる機会を提供したい」と話すのは企画者の伴場賢一さん（Bridge for Fukushima 代表理事）。交通アクセスの悪い僻地や海外から参加した高校生も「刺激を受けた」と言います。

■ Contents

P2 被災地を支援する

【東日本大震災】

- ・新・夢を応援 ×NPO パートナー協働事業

【台風 19 号】

- ・6 県で 9 プロジェクトを実施中

【新型コロナウイルス緊急支援】

- ・医療・福祉施設にマスクを配布
- ・医療機関にトレーラーを貸与

P4 緊急即応体制を創る

- ・メディア掲載
- ・気軽にできる社会貢献
- ・空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”発足 ほか



発行日：2020 年 3 月
発行：公益社団法人 Civic Force
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 2-41-12
富ヶ谷小川ビル 2 階
TEL：03-5790-9366
e-mail：info@civic-force.org
URL：http://www.civic-force.org

「危機をチャンスに」一東日本大震災から 9 年

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災から 9 年が経ちました。新型コロナウイルス感染症の影響で、被災地で開催される予定だった追悼式や復興祈念行事は、軒並み縮小や中止を余儀なくされています。また、小・中・高校の休校や外出の制限など取り戻しつつあった日常が再び失われる事態となっています。

こうしたなか、「こんなときだからこそできることをしよう」「ピンチをチャンスに！」と前向きな取り組みを始める人がいます。Civic Force のパートナー NPO・Bridge for Fukushima では、福島県内の高校生に向けたオンライン講座「Ready to Go」を主催。休校が決まった直後の 3 月 5 日からほぼ毎日、企業の社長や自然学校の代表、戦場ジャーナリスト、社会起業家など多方面で活躍する“カッコいい”大人たちを講師に迎え、ユニークな参加型授業を展開しています。

また、Civic Force では 1 月末から新型コロナウイルス感染症対策の緊急支援活動を開始。中国への支援のほか、2 月から災害支援用の備蓄マスク約 87 万枚を全国の医療・福祉・保育施設などに提供し、たくさんの感謝と激励のメッセージが届いています。3 月からはトレーラーやテントを医療機関に貸与し、外来患者の診察や待合室など病院のニーズに合わせて活用される予定です。

今号のニュースレターでは、東日本大震災「新・夢を応援 ×NPO パートナー協働事業」の取り組みのほか、昨年 12 月に立ち上げた空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”の一員としての活動、台風 19 号の被災地支援活動の現状についてご報告します。

被災地 を 支援する

日本各地で発生する災害時の緊急支援活動や被災地の復旧・復興に向けた取り組みなどについてお知らせします。

東日本 大震災

過疎・高齢化、原発事故、記憶の風化・・・ 被災地の新たな課題の解決に向けて

東日本大震災から9年。Civic Forceの「新・夢を応援 ×NPO パートナー協働事業」では、時が経ったからこそ見えてきた被災地の課題と向き合う人々をサポートしています。2020年3月現在、6つのプロジェクトが進行中。先回ご報告した「石巻復興支援ネットワーク」「Bridge for Fukushima」に続き、新規4団体の取り組みをご紹介します。

福島

フルハウス

ブックカフェ、リニューアルオープン

一時警戒区域に指定されていた福島県南相馬市。2016年7月の避難指示解除と同時にJR常磐線原ノ町 - 小高駅間の運行が再開されましたが、過疎化や治安の悪化など課題は多く、地域住民や若者たちは不安を抱えています。

本プロジェクトは、2020年3月から無人駅となる小高駅前の本屋「フルハウス」にカフェスペースを増築し、地域の高校生や市民、南相馬市を訪れた人たちの交流スペースをつくる計画です。発起人で作家の柳美里さんは、「原発事故前にあった一人ひとりの生活と文化、歴史を支えた住民の努力と誇りに連なりたい」と2015年から小高に移り住んでいます。

ブックカフェ「フルハウス」のリニューアルオープンに合わせ、3月22日、併設の演劇アトリエにて朗読と音楽と鼎談が行われます。



全国

311 受入全国協議会

子どもたちの健康を守る“保養”支援

311 受入全国協議会は、原発事故の後、全国で始まった避難者らの受入支援活動を広範囲につなぐため、2012年に発足しました。2020年1月現在62団体が加盟し、長期休暇などを利用して全国各地で行われる子ども向け保養プログラムの事前相談会を福島で続けています。Civic Forceとの協働プログラムでは、加盟団体が実施する夏休み保養プログラムの運営費などをサポート。今も減ることのない“保養”のニーズに応え、子どもたちの心身の健康を支える支援を行っています。

宮城

地球のステージ

「閑上の記憶」追悼の時をこれからも

宮城県名取市の津波復興祈念資料館「閑上の記憶」。震災遺構となる建物がほとんど残っていない同市において、地域住民が集い遺族への思いをはせる貴重な場となっています。また、国内外の多くの人々に震災の記憶を伝え続けています。

Civic Forceとの協働事業では、毎年3月11日に実施されてきた追悼行事を、今後も継続していくようサポートしています。



福島

南相馬 & 杉並トモダチプロジェクト

子どもたちの絆を結ぶステージ

福島県南相馬市と東京都杉並区の子どもたちが参加する音楽劇プロジェクト。2013年以降毎年福島と東京で実施してきた合同公演のほか、南相馬を代表する「相馬野馬追祭」や「すぎなみフェスタ」、福祉施設での公演など過去7年で100以上のステージに立ち、震災後の福島にたくさんの元気な子どもたちがいることを伝え続けています。

新型コロナウイルスの影響で今年2月23、24日に予定していた本公演は延期となりましたが、事態の収束を待った上で、開催する計画です。Civic Forceでは、子どもたちの交流支援だけでなく、今後プロのアーティストの輩出を目指す当プロジェクトを運営面からサポートしています。



地域の復旧・復興に向けてー NPO パートナー協働事業

台風 19 号で被災した地域の復旧・復興をサポートするため、2019 年 10 月から「NPO パートナー協働事業」を続けています。これまでに 6 県で 9 つのプロジェクトをサポートしています。

被災地 NGO 協働センター

個別訪問や支援関係者向け勉強会を実施

広範囲にわたり甚大な被害をもたらした台風 19 号。被災地 NGO 協働センターは、特に支援が手薄だった栃木県に入り、被災者一人一人の声を拾う個別訪問や支援関係者の勉強会などを開催しています。2 月に栃木市で実施された「水害体験を語る会」にはコメンテーターとして参加。これまでの災害支援経験を生かしつつ、住民の思いを引き出しました。



長野スポーツコミュニティクラブ東北

復興スポーツイベントの開催に向けて



地域のスポーツ振興を担う長野スポーツコミュニティクラブ東北。長野市内の事務所が被害にあいながらも、子ども向けのスポーツ大会を開催し地域住民が体を動かす場を提供しています。Civic Force との協働事業では、復興スポーツイベントの開催や長沼公式ユニフォームの作成補助など、浸水した体育館が復旧するまでの間のサポートを行っています。

ほやす 穂保被災者支援チーム

コミュニティサロン開催

在宅避難者等に向けて、炊き出しや救護物資の提供を続けてきた長野市のボランティアチーム。被災地 3 カ所（穂保、津野、赤沼）の公会堂で週 1 回、チャリティ食事会と称したサロン活動を行い、バラバラになりつつある地域住民に憩いの場を提供しています。外部支援者のコーディネーターや専門家を交えた住宅ケア勉強会も随時開催中。



アドラ・ ジャパン

在宅被災者へ暖房器具

浸水等の被害を受けた在宅避難者の中には、応急修理制度以外の公的支援を受けることができない人々がいます。宮城県南森町で支援活動が続ける ADRA ジャパンは、公的支援をほとんど見込めない在宅被災者 660 世帯を対象に、石油ファンヒーターやこたつなどの暖房器具を支援し、厳しい冬を乗り切るためのサポートを行いました。



新型コロナウイルス緊急支援

「おかげでもう少し闘えそうです」

ー備蓄マスク 87 万枚を医療・福祉施設へ

災害が頻発する昨今、大規模災害の被災地などにいち早く駆けつけ、より多くの救助・救命活動を行うため、Civic Force は 2019 年 12 月に、佐賀や広島などの NPO とともに空飛ぶ捜索医療団「ARROWS (アローズ、Airborne Rescue & Relief Operations With Search)」を立ち上げました。 <https://arrows.red/>

発足からわずか 1 カ月、最初の緊急ミッションは世界中に広がる新型コロナウイルス感染症の対策支援活動となりました。1 月下旬からこれまでに約 87 万枚の備蓄マスクや医療資機材を、中国の病院や日本全国の医療・福祉・保育施設などに配送。小規模ながらも多くの患者を受け入れている医院にも配布したところ、「マスクの在庫が底をつき医療活動の縮小を考えていた」「これでもう少し闘えそう」「戦々恐々と感染対策するなか勇気もらった」など、たくさんの激励メッセージをいただきました。また、3 月には病院にトレーラー 1 台を貸与。今後も医療機関などへの支援を続けていきます。なお、これらの活動は皆様のご寄付に支えられています。皆様からのご支援をお願いいたします。



ご寄付受付中

- 三井住友銀行
青山支店 普通 7027390
- ゆうちょ銀行
00140-6-361805 ※通信欄に
「新型コロナウイルス緊急支援」とご記入ください。

公益社団法人 Civic Force
シャ) シビックフォース

■クレジットカード・電子マネー

<https://bokinchan3.com/civicforce/donation/bokin/page1.php>

※様々なサポートをするためにご寄付のうち 15% は運営費として活用させていただきます。

緊急 即応体制 を創る

大規模災害時の緊急即応体制を整えるためのさまざまな取り組みを行っています。メディア掲載やご協力いただいている皆様の関連情報もお知らせします。



メディア

NHK や朝日新聞で掲載 ー 新型コロナウイルス緊急支援

Civic Force は 2019 年 12 月に空飛ぶ捜索医療団 “ARROWS” を発足。設立のニュースや新型コロナウイルス感染症対策支援活動について、複数のメディアで紹介されました。マスク配布にあたり周知にご協力いただいたメディア関係者の皆様に感謝申し上げます。

- 【テレビ】NHK / KBC 九州朝日放送
- 【新聞】朝日新聞 / 毎日新聞 / 佐賀新聞 / 中国新聞 / ジャパンタイムズ (英)
- 【web】YAHOO! ニュース / BIGLOBE ニュース / 47NEWS / ニュースサイト「ワークマスター」 / 医療従事者向けサイト『M3.com』ほか

緊急即 応体制

もっと気軽に社会貢献！

《全般》

- ヘッズ
「チャリティハピネスレジ袋」
<https://www.e-heads.co.jp/products/detail2/3219>
- サンナップ (アスクル限定販売)
「フェーズフリー認証 紙コップ メジャーメント」
<https://www.askul.co.jp/p/P678379/>
- バリューブックス「チャリボン」
<https://www.charibon.jp/partner/cf/>
- 本棚お助け隊「古本チャリティ募金」
<https://hondana.biz/second-hand-books-sellng-for-charity/charityhtml>
- EC ナビ「スマイルプロジェクト」
https://ecnavi.jp/smile_project/

寄付付き商品の購入や読み終わった本・DVDの活用など、様々な支援方法があります。

《台風 19 号》

- BEAMS チャリティ T シャツ
<https://www.beams.co.jp/item/beamst-t-shirt/71080007591/>
- Yahoo! ネット募金 (T ポイント可) ※ ~4/13 まで
<https://donation.yahoo.co.jp/detail/3747015>

《新型コロナウイルス緊急支援》

- GlobalGiving (英)
<https://www.globalgiving.org/projects/coronavirus-relief-aid-distribution/>

《東日本大震災》

- バリューブックス「ブックスフォー・ジャパン」
<http://www.booksforjapan.jp/action/>

ご購入 1 枚毎に
1,500 円が
寄付されます！

緊急即 応体制

空飛ぶ捜索医療団 “ARROWS” 発足記念の会

医療を軸とした緊急支援プロジェクト「空飛ぶ捜索医療団 “ARROWS”」発足記念の会を、2019 年 12 月、東京で開催しました。Civic Force を含む 3 団体をはじめ、経済・政治・医療など各界のリーダーがアドバイザーボードメンバーとして参画。現場では自治体、病院、NPO、さらに米軍などとも連携を図り、医療・レスキューから物資配布や避難所運営まで必要な支援を最適な形で届けます。あらゆる力を結集し、一人でも多くの命を救う取り組み、それが ARROWS です。

緊急即 応体制

1 日 33 円から できることがあります

次の大規模災害に向け、平時から備えておくために、皆様の力が重要です。マンスリーサポーターとして、毎月定額 (1,000 円単位) をご寄付いただく形で、大規模災害にともに備えてください。

- 銀行：三井住友銀行 青山支店 普通 6953964
- ゆうちょ：00140-6-361805
(上記いずれも口座名義は「コウエキシャダンハウジンシビックフォース」です)
- クレジットカード：HP「オンライン募金」をクリックしてください。
<https://bokinchan3.com/civicforce/donation/bokin/page1.php>

※ニュースレターのバックナンバーは、
<https://www.civic-force.org/news/newsletter/>
からご覧いただけます。

